

校長の想い 10月

敗者復活戦

暦ではもう秋なのに暑い日が続いています。高等学校では黒潮祭に向けて、準備が続いています。

夏にはたくさん咲いていたオレンジ色の「はまかんぞう」もすっかり見えなくなり、これからは「すすき」が登場する本格的な秋の始まりとなります。

秋と言えば、以前神津高校に赴任した時は、2年生の副担任でしたので、黒潮祭の準備で灯台の先まで行ってお化け屋敷用の「すすき」をたくさん学校に運んだのを思い出します。

さて、私は生活の中で心に残る言葉を見つけると、手帳にメモしています。ちょうど、綺麗な風景を見るとスマホで写真に撮るのと同じです。

先日、中学校からのお便りの中に

「人生は敗者復活戦。いつも負けてから始まる。」仙台育英高校野球部監督 須江 航とありましたので、メモしました。

さすがは仙台育英高校の野球部監督さんの言葉だと思いました。今年の夏の甲子園大会では、決勝戦で神奈川の慶応高校に敗れましたが、強豪チームを率いる指導者。とても気持ちが落ち着く言葉だと感心しました。

私は、日々の生活や仕事すべてを「人生」だと考えています。

仕事やプライベートなことでも、最近は少し分の悪いことが多いですが、「敗者復活戦」と考えれば、負けてもともと、もう一度チャンスを頂いたものと考えられるので、いろいろな事に挑戦してみようかとやる気が出てきました。

神津中学校の素晴らしいお便りに感謝する、私にとっての秋の始まりです。